Ŧ 九 年 唯憲一版 百 + 五 局 年 月 七 月 + 五 號 B 星 期 Ŧi. 一百九十 H.

一本 心總發行所設在長春城內西三道街巡警 區南分區五段第五百二十五號 電話第七十三號) ◆日兩大張

每號銅圓三枚⑥全 月 洋

半年洋三元五角會全年洋六元

吉林省城 全 全年洋八元五 全 全年洋七元五 月 七 角圖半年洋四元 年洋四元五角

郵費大洋三角外加毎月毎份 外埠・歐美各 報費幣本 各

●報査先付● 元

本分銷處向在通天街馮公館內現因易人接辦遷至粮米行 報者仍照常飭送决不遺誤如有定閱本報及登載廣告 古林懷正旅館一古長日報分銷 刷物件請 大街檳江

處通告

江旅館為荷

票紙之保險信件業經定有試辦章程於五戶二十五日起辦將來試辦有效再行推廣仰寄件人週知所有各項保險信費及本局今為利便商民起見特先於北京奉天牛莊天津漢口長春(寬城子)張家口之鐵路所通等處收寄裝附銀錢票及他項大 清 郵 政 官 局 廣 告 詳細章程即向本郵政局探詢可

長春郵政局廣告

五月二十九日開彩 之多爲內省各簽捐票所不及 額定爲一萬五千張每 後售洋 移迎路本 西三道街永吉彩 票公司謹白

> 为打州略岩因() 崔氏辦香 不+敬染失憶○ 慮總發行所 因

致二訟寒不貴五 誤元○濕復藥洲 每南瘧爲造人 打洋之伍自慈 布 假冒辦 香廬牌 行屬量瓶功人南 號須認明 驥 雲氏督製

四諸貢使前報司四公生受春僉歷 馬惠陸病赴謂有 世**芳對門五州大藥房**地南標為記每瓶加附五彩認真券一部標為記每瓶加附五彩認真券一時標為適天雨賡續居地卑濕不免於白骨之效特於鎮江分銷處購服兩白骨之效特於鎮江分銷處購服兩 商轉如操白去 沙一瓶來於兩半 提一以櫛瓶載 丘值元將風果百 洋二意沐然治 一角焉兩瘧莫

18

心中四二脉沉合康

街路東東清鐵路商務公司

聞

紹

或此 E **提**倒國 知新長永

廣

駐東三省華安人壽鄉 活馬 諸君就近接於 電話三百七十 總分 公司 謹白

貝地明量員

. 角效每藏時廳 間十以断未 學像不聽句日顯數學發

边和開 接

分公司取閱詳細章程可也 此佈公司於長春西三道街路北敦請電號門牌歷有年所保養期內如遭不願招足五十萬兩早已禀前香港律 佈電 1 律 報測書 長春華洋

歡西貨

人壽保險分公司遊的鄉黎君侶華爲将理傳音界語君就可與例押保証金二,萬兩總公司

作。克已如無消路應 作復發本主人實實 等 等 見紅 老年痰中小 是的異始則服後如經 儘求虛少無

●張一第●(號五十九百一第)報日長吉(五期星)日五十二月五●戌庚●

五月二十二日 召見軍

五五五五五五五五

常疎忽意辰蘇嚕岱均蓍交該衙門議 務獲懲辦餘著照所議辦理該衙門 敬謹看守乃普陀峪守東陵庫內所存 處該管官員 金銀器皿竟自失去六件之多寶屬異 看守經管官役嚴行審訊並自請議 一摺庫存祭器關係最爲重要應如 處並著民政部步軍統領衙門順天 意辰蘇嚕岱奏庫存祭器虧減現將 五月二十二日奉 一併查取職名分別交部 飭各屬一體勒限嚴緝 知 處 何 權。而。

社 道欽此

與所有。 己

究 學。復 之所謂領土權爲財 迨至近 北代社會会 權。產矣。權 底。 寗謂 爲政府辨亦不適切

之感情果如 所有者不皆希望現金償還。 m

→ 月• 汪 欽使大 鐘乘田島丸向大連出 六鐘抵安本日午後 變昨晚 <u>-</u>+

(五月二十四日午後一時三十分安東電)

存之實數不及世人想像之巨額不實惟根吃緊致兌換券制限外發行而銀行所 利借換計畫者也何則資金之供給事 强辨者不得不在根本上反對內債之低 界决不因之生如何變過云云夫試此種 是今之事業界電氣業煤氣業等之新計 影響於經濟界者杞憂耳昨年歲底因銀 早故此論不爲政府內債償還策之辨護 不少故卽布一億圓資金於全國。 政府者曰以外金償還內債爲生惡 (三續) (譯太陽報) 人本的批評若 (无用) 金融

政府因此豫算欲以公债利息節約論抵之感情果如此豫算欲以公债利息節約論抵之感情果如此豫算欲以公债利息節約論抵之感情果如此豫算欲以公债利息節約論抵之感情果如此豫算欲以公债利息節約論抵 希望四釐利公債者故資金散布決不致 如一部杞憂者想像之巨嗚呼是說也果 或曰以外債金償還內債之時五釐利公 何等之根柢乎對於四釐利公債近時 生若干

電

專

日本桂內閣之國債 政府辨亦不適切也。商爲內債借換計畫之根▲

部內債。

後所有機會不 積是所不免者也在外正貨蓄積必要增 而其結果利息交付益須4外正貨之書 外債之途將來外國債有蒸蒸日上之齡 夫以外 必·坤·日· 國債整理之桂內閣之理想也。 之市價四釐利。 位故 引。 市價四釐利公債亦不能保現在之一日之市 矣五釐利公債不能保今日之市 矣五釐利公債不能保今日之市 矣五釐利公債不能保今 日之市。矣二 不外以低利內債償還高利

於內國外國推此志也雖舉五釐利之全性釐利或四釐利以下之公債代之非所問題之意祗問利息高下五釐利公債得以四 之結果如何也。 **債政府今後至如何程度止將以內債移此形式之反面觀之內債之一部變爲外** 之國債整理策之理想爲如何也在政府於外債平吾人首先欲問政府現所把持 之形式上觀之雖得稱爲低利借換然就 根本思想何在也此次募集外債償還內 吾人于是个得 重國債整理之形式絕小顧慮財政經濟 吾人重悲桂內閣徒迎俗論漁獵功名偏 庫之計算觀之恐將在政府豫計之下也 除之誠如是則新 四釐利外債替代五釐利內債從國債 其結果則以內債之一部移而爲外債 國債整理之根本思想 不 問桂内閣國債整理ク m. 債 之利命雖專從國

者不可無政策之理想也吾人所欲知 理想矣政府之眞意其在斯乎雖然政策 **債亦不得不謂爲國債整理策之悉移之爲四釐利或四釐利或四釐利以下** 者。 計。五。所。耳 表兄他邦 他邦相見知

想說明之責任則在政府耳(未完)對所第策滋憂懼焉至於國債整理根本思力的而我則行於其正反對之徑路吾人對性 界永永小能脫日俄戰爭之變態意大利易益有輸入增進之勢是日本財政經濟 政府整理財政著著出於收買外債之方

粉粉粉粉粉粉粉粉粉粉粉粉粉粉

概念・では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次ので 暮叩莊門陳意 他~

東

抵稱是視 矣。家· 之· 亦· 隨 不能指 斯乏因 失焉嗚呼處: 處世之方。 拘泥。

中國際交涉彙編 中俄邊界委員李

行走江省公署 昨准外部來 各飭 電調來京該道向於東省中俄交涉嫻熟濱江道施觀察學基因慶邸及那相 交涉並聞將留在外部丞參上 此次調京為籌辦某某兩項緊要 節茲於一一十一一日帶同隨員繙譯乘 由烏蘇里江口起點然後向西次第勘查 東往臨江府境(即拉哈蘇蘇) 關於中俄交涉現下未經解 到哈爾濱後因有別項要公未能啓 并將前後商辦

外債益益加

而

着着猛進漸將干涉我政權其

各卡倫相繼設立居民亦漸有赴上遊結

種問題 致東督一電其文約四百餘字聞 確係關於松花江航務 日外 部鄒紫東署 倘 叉特發密碼 情形詳叙始末毋得疏漏本月 交涉上種 設心置慮固路人皆見矣乃近

境 的市 賴此招來漸臻 繁盛 時非 煙者亦得有憑藉均隨之前往彼 東省近來禁煙令嚴江右各煙 全歸敗壞目下黑河一埠已成煙賭 與俄員嚴重交涉恐滔滔者 吾國官府明知之而不敢過問一般 能立足相 率遷往俄境會業

世界流毒蔓延不知底止

亦大可覩矣。 発而吾國邊吏祇顧考成輙以權力為 業而吾國邊吏祇顧考成輙以權力為 透此中原理正可藉以開拓其墾務商 清大害然以東省論東邊俄領煙田刻 解時勢如此尙不。 境义明作鴉片之淵藪其道非他即窺。 已有數千萬晌鴨江左岸韓境黑河俄 爲掃除流毒不惜擲千百萬之稅金廓 轉移粤東澳門之番賭其前例也國家 會者深而市廛消長之趨勢轉能視此按惰游之人不正當之營業爲害於社 切實交涉禁煙前途

時進步華韓人民聚集日多地方亦日繁延吉自開闢四處商埠以來墾牧商業同 延吉果誰家領土

盛即如局子街一埠在光緒三 十四年尚是一片荒野恩時未 **茂全局改觀 岔道已密如蛛網** 當中日領土 岡北大街 元亨利貞等四大街若小 題未起交涉之時日 滿韓已早注意及界務解決至被要求 除舊有之局子街不計外新開者 成吉東,鉅 人以其地綰

世明達之士宜早注目也 邦對我之野心正勃勃未已當 延日領事館傳出消息謂 該 國 殖 民廳將 派調查員 至韓分道調 列入韓國北咸鏡道之範圍彼 查 專我延吉 (即彼所謂間島) 興東郡國誌

叢極多盜賊依為數澤距蘿北廳尚有三黑兩江 進流 江口要道與俄對望柳 雜居胡匪出沒搶封統 覽全局形 烏雲(烏雲河)春源(伊春呼蘭 十策其設治縣法條云與東 設治無以實邊該境三面皆傍金溝五方 掖員**先**行 武署至湯源(唐王河) 望查 時屬佛山一府(即觀音山) 鐵路之中心點亦在此出我非先行 分防廳缺至觀音山逾江而東 百里邊綫太長須先擇地添設 迤東五百里 高家屯 地方為松 實邊自宜先行設治以爲民 與冊接壤邊陲首要人少路塞欲求招民 力之中點現俄人東海濱省計畫 何) 二廳爲緩設 而蘿北 (托羅 俄界拉吉大站卽由 直隸廳化局(鶴立崗)縣函應 慶觀察山 少帥已飭民政司 日前條陳籌邊 黑河赴伯

黑河消息

暖 神一帶漸復 庚子前 心舊觀 誠以黑河以下各村落 近年龍江右岸 過如今時之譜至自黑河而西溯江 頃之膏腴已爲俄人佔去江 日 逐漸繁盛黑河至 除江 東地數千 右民戶亦不 因

聞 駐 江之俄人殆 增數倍

短原定期限。 執不允不但 按讀此 監國日各 之力) 不俯順興情也故監國現擬俟降旨後即 此次國會請願書遞進後監國即擬降旨 以轉圜各代表面子者。 勒澤公徐中堂唐尚書吳軍機皆主張 分行召見各代表藉以察詢各省官民內 朝廷所以不能卽行開幕國會之故並非 分日召見代表旋經某大臣進言請俟朝 期限仍尙有望者) 究竟諸大臣以爲縮短期限• 廷宗旨決奪宣佈後再行召見藉以宣示 種關係諸多不便慶邸肅邸. 諭以前及以後之情形節錄如下函 續請速開國會不 國會請願 函似乎此次不允縮短為某大臣 僑情形並面行嘉獎各代表云 一日早政務處王大臣等召見 代表請願書中言詞頗爲沉 二續四續伊胡。 果業見明諭惟發事體 (按讀此函縮短 朗貝勒洵貝 底止且恐種 若此次仍6 已平 云五

民選性質* 逕頒明 院否決而來興論之反對不易轉 旋有某人員以資的。 興情未必承. 願書前有議交資政院議 知朝廷故以輿論爲 認是以 院議員。 重與其交資政 大都欽選與 資倉議之說 延與以施行• 作。 (按讀

商家購買零用 物品較之先時過 老少粉來江 右遊玩 並赴各華 數家是蓋長江上流唯一村落也 廬者如 近來江岸天暖風和 俄人無男女 馬廠 地方現己有民戶 迄已十日尚無明文各省人心惶惶**小**定 書呈遞後之一切情形以已呈遞旬日尚連日各士民紛紛電致代表團詢問請願

某督密電櫃府云各代《請願書呈遞後

論頗譏之

某國匠師鼓

鑄新幣京中

爲今日至急之務聞度支部近擬

新貨幣制業經頒定鼓鑄新幣發行市面

團聯合請願事宜蓋預備呈遞請願書也

請速宣示縮短明詔以安大局

旅京游學朝考優拔朝考舉貢考職各員

亦於二十二日假湖廣館開會與各代表

部員調査中國園法沿革及現在改良幣 該部員等現將此項則例已編成 制與人民習慣有無窒碍並發照東西洋 各國幣政編成則例以便流行等因茲聞 一元為正貨五角一角一角五分二分為完善其內容係按照所定銀貨本位. 此項 項銀線各貨兌換俾資流通向利市面 分中分一釐為補貨其兌換紙幣則服 紙幣獨由 大清銀行 粤督袁樹勛 日前上 ・

一封奏係反

對。

奏請監國核定頒旨實行 免換紙幣則例確定

此窮日解囊接濟也 汕頭近信 筝 平糶同已於月切開 浙江上虞各處鄉民近因米價飛 蝕祇足支持牛月深望慈善家憫 日糶米八十餘包次日一百餘包以後日 **腓計每日到局糴米者擁擠異常聞第一** 請兵保護並關會各團體令其早作預備 處所聞知會縣署葉令聞之頗爲寒心當 如不開辦只得搶掠大家云云嗣為統計 忽起謠言謂毀學之南 兄增加調查現有之 数按之每日虧 聚衆主城要水葉令籌辦平耀 人又欲

案將駐 前藏大臣 之職權擴張的 現已決計實行所有駐前後藏各大臣及 個臣因 藏地 **以教分權** 之政策 渴望 立斷又何必築室道謀轉致非滋紛擾 國大不云然以此事是否可行應卽當機 度支部澤尚書前以劃一 "長"的事飾 必先飭由各督撫條陳意見藉資烝考監 分權之計畫某軍機奏對此事甚屬繁華 叉聞日前監國與某軍機提及藏地政教• 總督等其駐後藏及川藏邊 充則遇事必多阻碍在聞樞臣已議訂草 期召集於是議會各界代表 等會議 防大臣均與巡撫将日內當即 **特慎重態度** 仍然 組織請 川藏邊務大臣之權限職秩若非一律擴 自明諭國會仍俟九年籌備完全後再定)治藏政策 **国** 體期達目的以副全國興情ク 為彈壓兇再釀事禍· 壓匪徒卽電散云 **晝放火**情事幸 ●湘省亂機

辦法(一)關於 稅務大臣與度支部尚書日來迭次倉議 法 并聞第二項事宜其端倪將次决定 惟第一項問題尚無成議 兩項問題(一)關, **釐稅片言** 减輕出口稅

民暴動 情事因電飭新撫楊文鼎妥 流言匿名 揭帖 到處皆是不逞之 意見愈深如王孔葉等先散布 京函云政府日前聞 湘陰 又有 亂 徒因而乘機煽惑聞初九日又有白 漢口國云湘省參案發現後 官神問 整言兵 等分投鎮 善不善千里之外應之一言可以興邦 海之頌聲作否則四海之泣聲起此所謂 陳於各請願呈詞 旨敬悉政務處王大臣於明日會議聞命 論國政但外考世界大勢內證中國事實 提議此事精詳擘畫贊助 **頰中也顧可不** 問卽騰播於實球流傳於史乘天地鑒臨 之果能速開與否卽於明日政務處會議 覺國會有萬不能不速開者其理由已詳 情速定人計洪伊等識陋才疏誠小足討 言一行亦國家安危所繫則會藏時自當 徬徨仰望明詔有若雲寬今日捧讀 鈞鑒敬肅各洪伊等於本月初 元陸乃翔等謹呈 言可以喪邦也 家安危所繫 非民間所得妄揣然速開國會 乙下欣煉交幷夫所會議者果爲何事雖 臣書 慎歟夫今日

發行

並備有儲款以維新紙幣之信

用該則例聞已入奏不日卽見實行

鼓鑄新幣紀聞

國會代表上政務處王大

苟安耶則下受人民之抨擊洪伊等雖死 朝廷此次而不能速定大計哀恤與情則 伏非速開國會不能挽救讀之動魄偷 任勢難中十且近日各省督促洪伊等請 陳議何如耳 今日疏狂無狀瀝煉下情敬懇中堂王爺 願耶則恐上 洪伊等真進退兩難占再作第二次之請 九文耀雷奮姚文枬沈懋昭杭祖良余德直省國會請願代表孫洪伊李長生喬占 公爺大人俯察蒭蕘力持速開國會之議 願之函電極多皆力陳大局危迫亂機四 鬼神瞰至其樞機全繫於政府諸公之齒 卜之倘中堂王公人人能力持大體則四 國會請願呈詞於察院後現已浹旬日夕 **个足惜然國事人心從此必更難收拾故** 憲政取舍原無成心惟視左右輔弼之 4洪伊等既各膺代表之重 中堂王爺公爺大人之一 君父, 中茲不復續竊謂國會 中堂王爺公爺大人 嚴譴若卽畏難 聖明俯順民 計謨指顧 朝廷之厲 節爲國 ·日呈遞

能思**凌**黄 閱如曾君 厦 門

行終母員漸

路為第也致

時衰探數心 忽殘訪年力

然中之前身

厦門黄

毒質故醫生物

腦原煙之人

爽改 洵吸 此

愈

理

士

師及不吸煙者

金 (祿廷魁蘭茹在天)寶 殺御洪抬 佛)報()府園洞府

(橋陽洛)台金胭 (串反角名坤)(帥)虎 6) 孟天三 津水系 陽 河關 品 汴凉圖)

司 埠開器間乃備百股搊經立商核針埠 即江已到文集圓每集 可後經哈於酌現股資批磨會去恐粉司 開轉妥購本派下龍◆照公禀表利銷 辦運定辦月上股洋五准司請

安本侯哪初君《貳·□因辈韵均·□ 提本

糧垣省在設 (旅行) A 38 A PRIEST OF THE ST. 待室以備會各僱用著名庖丁善級單雙房間任作客便眷屬駐寓 雖有安寓之處尚不足以 吉林爲東三 言之し 雙房 館院址宏敞建 製時飲榻床 ROBERT BERTH 謬 慇懃何役と應酬は 省首善, 惜重資特 報金統統 銀銀 報 報 報 新 和 和 和 和 和 和 各界惠臨無不散 **饗住客为今時代百度鄉** 年來官產屬集旅客日繁 善於烹調飯な清潮紅寓尤爲相宜另有按 常 大街開設権江第 **歓迎**方 **本棧謹啓** 仿 A A REPERTURE OF A PERTURE OF A 使用聲音者如此烟凡長時間

一海四川路第八二律不取 常康士醫生藥 同總發行所或向四 號 韋

不致悞因假冒影戤者甚衆服 重慶白象街 分局了 非徒無 盆而 也價銀每六瓶 反有害倘 有 疑惑

延須呼吸 # 無火 生煙 定價每枝無卷式日洋四角角 洛烏拉 (一名有煙派普)

療治啞聲失音經濟治啞聲失音經 放用有二 一效用有二 一数用有二 一数用有二 芳香

註商删標 局

草廉士 虧弱為 衰身心 稲山患 11.薄氣 醫生 也大

免以

得身力 與樂 九明認 吐矣自白服 劑系溼 奇醫各矣不不心余有士呼常述輕韋中刺癬陽功生處中將復久思聞與 吸覺 弱廉 有痛癩萎也紅因特韋發服口母服 艱神言無 士獨 不已色血作廉今身身韋多難思如力大 舉曾補乏此士則日止 偶舞亦 醫丸ご證大氣强患士而 「倦云苦生 之風疔胃治与最書醫血健是人病傾諸○ 紅風疔胃治与最書醫血健是人病傾諸○ 紅色 聖病疹 「無生以報生充體疾醫體 跌事余堪色 消數長致贖紅盈無爰生依 「解現今補

也左皮化男駐身深色全倦立紅然 虞怠年則丸 天癱膚 女紅體望補體 A 意色如 心悄三心而 女紅體望補體 介意色如 心稍三心 而 房婦涇山氣以凡亦揚 回出血愁脣便三爲强 4 僅氣萬牙窘前康逾 給皆余則病 氣身枯紛と誠以 服 體竭紛獲為前紅一 服衰分床迫爲樂恒

明誠痛痛症血兼 + 義健頭轉相憂雖教所本真為以管士天之余暈機告心承習困司止補筋乾及之入下入若亦恒者適醫 1 目代

> 第 版

長春西四

本電話四百零七號)

THO WAS

大連開設聯有年改良重洋房座町做設精潔 (使全要捷酬應2週到光為本特色 部 然一新選上等合於衛生 以副賜顧諸 至策 然一新應用品物合於衛生 以副賜顧諸 至策 然一新應用品物合於衛生 以副賜顧諸 至策 性之電 (基本) 特編聞處□銀代埠編啓▲ 此明稿一行錢派來輯者寄 佈所件字所往廣函發敵書 本告恐等樣(來告凡行社本 未請其或請及關兩辦社 周注餘庶注一定部事者 謹啓 知明祈務明切報各分鑒

常堂公審會界租海上

紅 衣 不

補 出 於分患病法相廠之知濁僕紅贈小竟吞宜愛劑漸質少 衣未便全服正母卽覺雖年 衣 未便全服正母即覺雖年**類**愛 補 經頻消 樹士加精百失類 聖 丸 生數 的 叛託 新 以 神法調整 補 經 類 们 模 工 加 刊 日 八 東 生 丸 半 數 市 叛 託 紅 刀 神 法 調 數 生 之 月每精略構衣培短盡壯

安詳登愚又被氏硬羞宅馬王沿馬屬良竊則細報無連恐搬逼變是老氏窩崇北爲緣巡看黎察佈故往嚇家苑怒何爺驚堡慶鄉莠威迎看底查聞受而王誤居王問夜於潘克逼無查聞受而王誤居王問夜上龍逼懦 家害母真搬不有院百舟長巡苑入局事嚇

達賞者亦完如可貴導遷帶

民之 甚保責只而嗣女梁取窮夜自家至巡**戶愚** 治者得鄉後俱鮑閙惱入稱苑井弁呼誤 暑房 家

訴家醒幼之般詞夤弃姓日之茲鄉

官

欺

示示照一給商護煙冉沿確職收僅採擊毒

品之需必用 令 英 香 香 露水 所時賴氣 必疫芳劑 粉

洋孩欠雞多過 行 先補換警度 壯 辦大少脚氣夜亦不年氣虛夢 可足凋衝便遺補 藥積先四積驚 房瘦大肢濕悸專 弱不酸困頭 店 等足軟倦痛 售盡失虛百善

售後愈骨汗虛 禮 色由 和小愈濕弱思行

我

東亞藥房同啓

東洋丸散齊丹發的

路月腰房氣陰愛 一百一不背腎心虧 理

赤山心頭痿紅

葉 下氣交鳴七 補 荆

治

各

調痛虧跳陽

震白嵐腎量五

月瘰肝積精經經濟神

辦宮疥枯胃寐 症 寒濃偏氣・ 略

產久腿膽糟此

及切風虚心血

批腹陰各胃困

發 痛疽病弱倦

或 冷潰枯痛寗

立憲剏局

口欲悉全國重要事件

聞

賤收非 照效 效紅 二張聊表微忱な 色 等 九里等

病諾君泰局可也

遷移長春北門內大作

牙廷一切金砂石補牙中

随時保管專門內外兩型

電表鏡如い 一閱者注意 焉實 徽 州

釐

局

萎心結洩 腎 提 冶

有 功後筋諸腦 老 難天骨虛弱 少 述。弱損忘 切 及 上婦手腎心 黃 骨 海女足經神 骨四各寒各怔 瘦川症冷病忡

市濱

)百份扎三成(二)百份以外除百份仍以二成扣算,餘扣匹成惟假度代

本計啓事

日志服操事日都先等記載三日以

谷旗

本銀行資本庫平足銀壹千萬兩總行設在北京並於 倫重慶 南設立分行 哈爾濱 安慶 營口 長沙 香港 周村 叉於保定 南昌 煙台 長春 安東 大連 蓋平 西安 局里雅蘇臺 青島 濟南 燕湖 周家口 開封 厦門 設立分號 張家 天津 口

甲 小銀元角票章程節錄於左辦理存款 放款 應兌 發行 鈔票等一切事宜

所有本行發行大銀元鈔票及

四 凡在東三省境內此處交鈔票彼處收炒票概不收取滙費如欲折合他埠通用邰 凡持大銀元票到本行取現按規元七錢三大銀元鈔票每元電匯上海作規元七錢三 大銀元票如攜往他省凡已設有大清銀行之處亦一律按規銀七錢三分核該處 元銀兩按本行逐日挂牌 換小銀元及現銀亦可照價核付 價目合算亦不另加滙費 一切市價均以本行挂牌爲準 分定率照市核付北洋 大龍元如飲兌

五之 小銀元角票除隨時付現外,小銀元角票除隨時付現

省境外各埠分行分號取現亦可通融核付該處通用銀元銀兩 小銀元角票原只行使東三省本行爲利便商民起見如攜有零屋小數至東三 逐日挂牌價品運至營口奉 現外凡在東三省境內如營口奉天等處亦一 另加隆費如應往東三省境外各處折合銀元銀 律照付

河水事在 有專關

燈臺道路隧道水道暗渠等工程願代計書打樣者請屬至上海小南門內新升里二

之保証書
全椒榮祿第薛幼飴君治

得一便血之症每月必藥房諸位先生惠鄙人 全

日

兩小瓶早晨配服 大藥房釣鑒部

愈後復購服半打百病俱銷耳目聰明如常故得教授忡忡不知所爲適友人自上海歸談及 貴藥房人造自來血効驗用功思慮過當近來擔任教育於一切課程尤極力研究以致精神日

公學堂堂長魏

人銘感殊架安可

言以志謝手援筆而書日良

八乘房抄登

北京經售家前門外華英大樓瓶加附短認真劵是值法瓶品的好短認真劵是值法

大樂房。天津地區大樂房。營口及文子書子洋一角庶不致悞。總發行所是獨門馬路港巡捕抄函購原班回件海內諸君如蒙惠購領認明全

候○大安○漢口中四日報主筆房王痴梧頓 鳴謝外特專函再謝〇貴藥房造此聖藥之至意並 現亦購服而有效鄙人不忽忘此聖品除已登敝報 之薄弱詢問緣因鄙人以現服五洲大藥房地球牌 前有月餘未見之友人見鄙人身體精神非如從前 愈矣且又不見別生他病可知自來血誠聖品也日 恙已覺應驗後四瓶服盡而十餘年之痔漏竟然全 中英大藥房購得小瓶四瓶照法服之服至十瓶賤 牌人造自來血爲藥中補血聖品遂令人至黃陂街 人造自來血答之友人曰凡事無徵不信今有徵矣 精神恍惚飲食不甘嗣見本報登有〇貴藥房地球 渦甚所有衣服無一未汚以致面黃肌瘦脚酸手軟 五洲大藥房台鑒鄙人患痔十有餘年近兩年漏血 梧治痊痔患漏紅血之保証書

五洲 託滬友在 鳴謝即請 人大安

肄業北洋大學嗣經營敝報業筆底 打未及半精神頓覺清爽身體轉為 血之功果也因受恩深重用特專函 因刻苦用心致獲失血重症前 大藥房主人鑒敬啓者鄙人前 賤恙業已全愈實服自來 貴藥房購自來血

聘之君之保證)天津中國報社大經理兼編絹石

王君痴

漢口中西日報主筆

較多因特託 林子華君(林君寓上海棋盤街南洋官書局)就近經理如欲賜登請向面議爲荷均有代售銷行甚廣欲於本報賜登廣告者請向本社經理 廣告人接洽可也 上海爲通商大埠各書坊及各藥房廣告

本報消息靈通刷印精良於奉天營口鐵鉛吉林哈爾濱黑龍江呼蘭綏化上海北京天津煙台神戶等埠

天津中國報社經理兼編緝

正月念一日

東省

隱密・得而知為 國聖彼得堡新聞紙設有飛行界之一欄每號特揭世界各國飛 行船之現狀 及

日本人以爲多言招失敗於事無補故余等雖欲考察日本之空中 洲技術及學理上之智識。 一智識然關於其事業特如b 由來東方之國民隱密的A 然據所聞日本最近有試驗不備發動機 陸。人民也。

軍艦與飛行船 更得事觀》後等日本人於 船概以個人之名義購入其實皆爲日本鎮守府所托購日本人不欲向歐美多購沙式各一隻哈而拿拉以脫式若干隻聖多斯邱門式一隻)輸入本國是等飛行 飛行船猶如軍艦然欲在自國製造守其秘密日本最初雖向歐洲定造軍艦然未)輸入本國是等飛行四隻(璞而利式克來

軍のク。五艦。飛・十 一十「米突」備二重甲板此外無何等之裝具然其甲板之兩側卽造有金屬製噸數之軍用運送船裝置有追隨最高速力甲種軍艦之大樓關船身之長凡百艦與飛行船 更得有最有趣味之通信日日本之某海軍船渠目下從事建造

日・服・及。之・ 本・陸・暦・肌・他 而 腦附屬飛行船 長至五 「船停置場五所云。」 · 机艇之襲來又如陸軍上陸之時可使為偵察陸岸即在上陸之後又得使之他一方之飛行船飛走自國艦隊之船艦上由空中俯瞰海中即得警戒水雷、自餘當艦隊之行動於戰場也此運送船中一方之飛行船可為偵察敵艦隊所屬飛行船 長至百五十「米突」之船體如令飛行船飛揚於空中已覺掉

員向日本大使館之書記官質問其事實之如何該書記官即日關於陸海軍之本書記官之秘密主義 日本建造如是運送船之消息傳之法國也法之一通 使館書記官微笑而言曰「卿等將來須俟目擊之後方可識之」其緊守秘密 吾人無發言權該通信**究竟確實乎抑**虛報乎末由斷言法之通信員即向 本書記官之秘密主義◎■●●●● H

國士官之言 予輩所確知者日 購入飛行船若干隻其一部分業已運到輸人日本引渡於海軍省且在海軍省國士官之言 又據極東歸來之一法國士官所言則謂日本政府新向美法兩 知者日本軍艦現已確有特別裝置可令飛行船便,驗二次但其結果如何嚴守秘密新聞紙絕然不提 燃云云。 於飛揚及降 於飛揚及降 下。知。 但

學堂司所染病症者多至不可勝為熱瘟疫流行各處而上流社會濕熱瘟疫流行各處而上流社會 嘔近日暴風 鹽近日暴風 整 衙·會· 展· 人· 穢· 建· 人· 禄· 無· 於· 無· 於· 在· 於· 云

勢必相約罷市故於十八日早全體議董學場力爭執謂此次若再不能逐其要求是等迅速全體來省與府署學堂自治各董等迅速全體來省與府署學堂自治各 衝突該會總理晉省 **自演戲衝突事** 切 不函令在會之各議事一商務分會因演

吳送長册 烏拉姆 均相率進省面議 表册云 名進省聞因京師調查憲政者不日來吉文牘員穆君如清於十八日帶同書記二呈送長册 烏拉鎮地方自治籌辦公所 速造成表册事備查核故穆君進省呈送籌辦公所凡關於本年應籌備之事宜迅 郷地方自治

所看押司司核 屯盜去肥猪五口 核聯後聞桂巡 閻巡長交差後即回 官將該 由樺 **村該犯暫羈拘留** 中皮廠解縛押送 中皮廠解縛押送 中皮廠解縛押送 本區

口

所有銀錢兩業應即 大約不久即須派員來 大約不久即須派員來 度っ 各國海軍大臣濤邸 部以 官銀行資本金 幣制本位已定將 查官立銀行資. 業應卽取締清 按放先派委員文錦來 與不日由俄回國制軍 東督錫制軍以考査 來 青調查云 本埠各銀行人云本埠各銀行人云本埠各銀行人云本埠各銀行人云 一日抵

前棒, 日十沈廳會。 新没 縣治唐 丞 ▲依

廳推

暫緩回埠之原因

文 所。飯。籌 样 屠。歸。報 奉 大。十。戶。百 上。學 子弟多不 五十吊但彼地居民寥落又係祈遷之 月間已立初等學堂一處堂租每年七 堂後由該管縣令孟訟平承辦聞該縣 **盆嗣因市面**

論. 的驗大沿溝金廠已誌前別縣大沿溝金廠已誌前

館宰猪 斗格兩處籌捐仍是 猪及屠戶宰 **錢三吊故近日肉價自** 尚未納捐現 向未納捐現由勸學等 本城學堂經費奇妙 每 曲。 一。學。此 隻 所 外別無可 外別無可 本 凡 和 六百 四十

員選自憲選。家。餘 意 晋議十停。戎 聞照元。 · 向各債主緩慢 此事當 另以。行。房。 大約該號所欠之債今年先太豐等素懷破壞主意者亦 盛之轉機・ 日 各。 地。 業局總辦李觀察 商 判廳封 **曾邀集各債** 委員趙水如 **州重行照常貿易以免破產 川抵分年歸還一面由該雖** 類俾其. 產備抵 方議 具重理舊業故於二 如別駕等擬出爲調 如別駕等擬出爲調 **越事會亟應成立故** 本年應行預備 べ道標營管 各債已誌前提 然允為維 持 帶 即夥 報道 劉 AT! 弦 憲

戶。罷加。論 至七百三十文

請。 專責成 專責成 學。 醴泉司 政造• 司紙。 为 投入官股三千兩都 然公司 逐派督辦 洗 口昨札委龍江岛 **山府為該公司督辦以** 一兩提倡開辦昨聞趙 一兩提倡開辦昨聞趙

金 木

加金税若干率爾呈請姓

殊屬

小 獲

准

呈該

以便前往後經批示畧謂該

沙後報

購 儲 小 糧石 筋各屬購糧送省以資以為教飢之用己誌前 由 **断各屬購糧送省以資藏儲昨以為救飢之用已誌前報當經** 江撫前奏於省城設立倉厫 江裝 小 查收註 米五萬石 倉送 存

行

啓節乘西比利亞火車前往比國九日先後蒞哈拜謁中外各官二 准文莊兩君赴比 居人演察長徐季朝 **奏派萬國監獄攻良全奏派萬國監獄攻良全**

住木 機親往查問與盛今年的 - 年改設樺 以·所·傳 十四日搭 發. 推事 袁總辦電告來安期 禀遄返2期礙難豫定云法憲大遭申斥至停助經費一 助 附告該 經 費及該廳各項要公二十一孫紹卿十五日晉省禀商 談廳聞其**医**内有云抵省謁見及該廳各項要公二十一日該船卿十五日晉省禀商商務會四埠之原因 安埠地方審判

十日乙級票業已當衆開視當選者十名員票分甲乙二級投開日期已誌前報二選舉乙級議員揭曉 鐵嶺自治選舉議 ● △鐵 嶺▼

松批示畧謂該商人等旣 好發別垃溝金溝懇聲執 日前有某某兩商人禀

新 ▲北 京▼ 聞 內

各王公貝勒及肅邸與壽子年尚書茲又 上近因某某等國窺伺蒙古日益緊逼發 起保蒙會以圖抵制首先贊成者係在京 上近因某某等國窺伺蒙古日益緊逼發 切入手辦法以更入體認爲會員擬日本 貝子壽語 頣 卿溥仲 兩貝勒 内。璐 將。兩 世: 大。尚書 成立逆料此會之 贊 澤振倫二 成此舉

票完竣

處投票之人異 ·即行揭曉 投票選舉 7揭曉聞二十一二兩日惡選舉甲乙兩級議員 一二兩日到該級議員一俟投

節尚未詳 見。該會判

會諸大端需款浩繁均待接收地方牙稅 瓣臨時會應行提議各案件爲劃分區域 排臨時會應行提議各案件爲劃分區域 本 追繳鄂岸督銷虧 追繳鄂岸督銷虧 助 司 新政待欵孔殷 天津縣議事會禁衛軍調京 禁衛軍現已全數禁衛軍調京 禁衛軍現已全數 組織協會 古如耳家仍前 **本銀十一萬二千** 上月底 處已於日前函致河北在保定南關關帝廟內組 尚未批准勢難久待決議再行禀催一次後方能實行乃直督對於牙稅一案至今 研究總所請寄章程 廣東分廠 局 奉 天 分 廠 雲南分廠 四同湖间 北分廠 廠 人之成本積欠至二十六萬餘兩之多實 大津總**廠** 慶幸前途將來必能發達實可爲蒙古之大局 名單列表 員以昭慎重已奏准派員充任矣茲將甘 正副坐辦各一員分廠應添幫總辦各書澤公以鑄造新幣事務重要總廠應,奏派造幣廠之坐辦總幫辦 度支部 數賠償以重公款而清商本云無此辦法現已責令歷任官將此 ●▲山海門 一萬二千餘兩以國家之正數商 南海頭 如左 關 關帝廟內組織自治協會一直紳韓德銘劉培極諸君刻 延宕即當另謀對待之法 總辦鄉鄉 總副正職辦坐坐名 總辦 總幫總辦鄉鄉辦 幫總辦 帮總辨 禁衛軍現已全數由 柱北戴 數分以備參考 北 總補監理官 監員候員主官 理外補外事名 官郎道郎 主事 監總督廠 郎中 主事 主事 暑近京愉 洋之軍人 條石直隸自治 榮熊李陳希佛 王宗旗藩 胡大崇 姓名 鐵嘴均公 南苑 虧欵 度 廉厚齡肩 一海份 理來貨物為茶葉磁器夏布紙貨等皆江州 而來揚子江則以為迁路而不甚交通其 全上海者每由常山縣下錢塘江經杭州 至上海者每由常山縣下錢塘江經杭州 出品其中磁器煙袋皆由民船運來蓋漢 煙袋牛皮等為主外更有各種之漢口輸商人所販至上海之貨物以正頭磁器麻 湖北帮 其數約二三千此帮出售後每帶洋貨以爲常 至上海所用民船其 波廣東へ之手故在上海之漢口商巨大之商賈且漢口之外國貿易槪 口與長江下流之間 亦 徽等 上海此 四. 多固 之數約十萬內外此雖非確數 萬擔此外則墨商亦爲安徽· 過上海運至各地者而要皆由安徽運至 也徽之買賣有卽在上海行之者亦有通 外國每年運至上海合紅茶綠茶約六章之至九月間乃歸安徽之茶類皆輸 有當典棺木等業皆此 數皆於五月間運茶至上海宿於行棧中繳茶商久居上海營業者固不少然其多 徽茶商久居上海營業者 云 每 略輸洋貨於漢口然其額要極少此 商。情。 H ·船上帳房之用此? 無可疑據徽寗會館調查其 萬安徽帮所營之業以茶 情・▲ 東來西去之火車皆戰有各國軍 外徽人更開設 、上下長江 民船之貿易向 時爲外 飯館名日徽 帮之商業也 航海者不下不以大民船上 人所謂徽墨 國汽船听 爲大宗安 然其數之此帮商人 中不聞有 帶者約 確數。 稱繁 在寗 1 館 文七 事務所慎重名義 事務所慎重名義 事務所慎重名義 動業會第一二 要 前德國未明賓主權限意。 門前。 即德國未明賓主權限意。 雖 百下 4 其 州 妈 蓋. 七、出、中 勒洋價情 作報 東要欄間的係省垣度支司法係省垣度支司法 亦許補入一校最² 人從此畛域小 有。 元左右小民竭一尸勞動力• 忙時各米商因而居奇竟 改換德國部字樣此前月念七日事也君光甫覽該館主任余君舜欽令其拆. 護院遴委仁勇艦艦 因資望太淺各 絡繹不絕其價當可 過五元餘近因來源稍 統出巡 開市 絲. 開. ▲ **古鹭該館主任余君舜欽令其拆去** 大書大德國三字當經外事科長陳 漢之一班 盤本地絲行有十一家較上年共少 市。蘇 四城雖設 聞 一校最多者或十餘人或八九 近。 妨 嗟 **寗垣米價在端陽節前每石** 况。 勇艦艦長封爕臣代統後江浙內河淺水兵艦自經 價當可稍長云 害 嗟小民其何以 分不僅言教育普及已也 通 艦長咸不服從並悉該 飭即銀 各屬平 地方治 **寗垣駐防** 價日高 * 垣各絲行同於十二 《不能自書國號 《不能自書國號 日本 城 安亦不 價 一節已誌 然館 贱 不 部。

州赴蘇浙一帶邊境巡緝然非得計爱於日前禀明 艦長咸不服從茲悉該代 艦慢長封變臣代統後祗 日院參 項商舖亦擬將貨物公定價值不得私行價份無參差近銀價漲落已有限制故各價份無參差近銀價漲落已有限制故各價份無參差近銀價漲落已有限制故各 教自衝突 西關語 日內仍即返長云 二名由直隸赴東三省游歷又准美國領事來函聲稱有本國商人佈士及奈格恩外人游歷誌 府署奉公署札開准英領 視學參觀各級學堂并到宣講所及各處哈埠到長後即假寓勸學所咋同詹右文哈與員養員 新市場之熟鬧。 考查惠政紀 老 當地人平日一切 學所申訴據朱教員云伊係直隸籍王係朱兩教員因意見不合互相口角齊赴勸 簡易識字塾周視 學所如何分解尚未之知 **松衝突非一** 面商該路一切事宜後即帶同該局俄文長考查吉長路線會誌▲報聞與傳總辦考查路線員之行踪 京漢鐵路提調來 **潘譯官邵某赴哈調查東清路線聞三二** 考査路線員之行踪 賣菓者才難枚舉遊人雜沓幾如山陰道 餘處茶館七處至瑣小雜貨生意及提籃 卦攤樂攤者占八九處此外有飯館三+熟鬧 有草台戲談平詞唱大鼓變戲法擺 朝一夕其所由來者漸矣勸一切對待純用排外手段因 西關學堂日前考試學生王 一次 外 東偏近來極形

薪金一 教員加薪作罷 後卽飭各屬 事來函亦有 處游歷均清到 堂一處而東西兩關及中關學堂節業誌本報茲悉實行增加者惟 行 45. 體知照 境時安爲保護府署奉文國商人懷司赴東三省等 加 造册報銷藉模範爲

作

到

速

化洋大聚元 兄進

O E

片藝

五 五 十 二 吊

苧蘇

線線 包米 光米

△ 兌出 北洋大銀元 東平銀 (以大清銀行大銀元分屬一百元為率) (五月十四日星期四市) (五月十四日星期四市) 江南大廣南奉反北立英老小 手羌銀 帖帖吉東區 頭英洋人洋頭洋 頭帖市 小洋 (右行市由北大街長泰福與鶴號医抄) (五月十四日星期四 質 四四五年二四二五年二 一百○五角 一百十四元三 一百十四元三 声。

粳江蘇 米米子

七二五五五

小米

四部三

三十品

二十七吊

三吊七 三陽七 六吊三 蘇子 芝蘇 态变

四十三市 九品 一二六

Ξ

二十五器

八品

七年五

四吊

小麥 大麥 小旦 曹豆

四十二品

三十六吊 二十品

一十二吊

四十品

五吊

四吊七

三十四の 四十三年六 ---

三十七品

合見 元豆

三十九品 四十四中 二十六

博適爲日本憲兵所探知前往捉拿除李 黨總裁閔泳麟等十餘人含同在某邸賭 名逃獲外餘皆為憲兵所捕也 (以寬羌帖為準合各地銀一百兩數) 上海現價 一百二十三元二八 光京現價 一百二十三元二八 卷口完帖每萬元加利五十元 哈爾濱羌帖每萬元加利五十元 天津光帖每萬元加利五十元 五月世 四日星期四市)

BET HERESTER BOTH

市

況

本埠銀錢行市

本埠糧米行市

(五月廿四日星期四市

五

15

高政員到長未能即行聞二十 傳總辦進京 處無論實行未行 各教員到所特開會議擬將增加薪金之 擬進京與郵傳部面商一切工程因調查 新 吉長鐵路總辦傅觀察前 四 一併作罷云 外 四日 乘南

●東 京

其形跡可疑面貌亦酷肖孫逸仙且日政並非孫逸仙乃一檀香山人某醫生也惟息一節當時東京各報皆記載此事實則 即現內相)前侍從院副長李範卿進步 逸仙近數日間東京報界己取消其記載 府又接有前途之通咨故人皆信爲眞孫 韓大官賭博被捕 誌之以釋羣疑 謂孫逸仙現尚在紐 逸仙到東不確 六日韓國中樞院議長李址鎔(按官賭博被捕 據韓京消息陽歷六 約並無來東之耗 報孫逸仙到京消 特

道勝銀行行

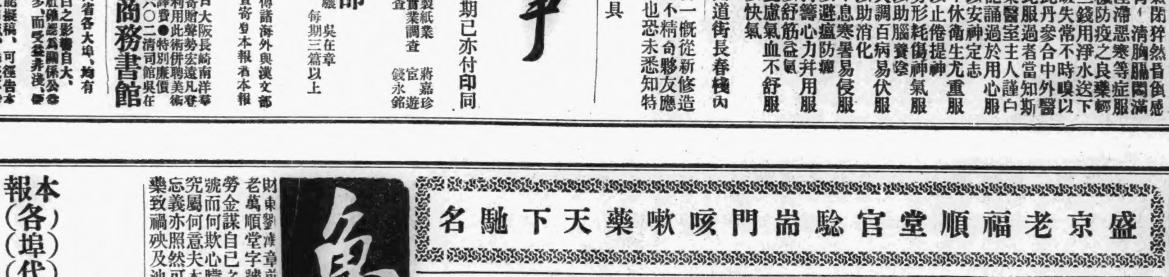
免出官帖

党進官帖 置官帖 題向日本實 一一八八八八九六〇六〇七〇七八八八四。 四四三三三三二六五九九〇九〇三一二七六五日。 一一〇九九〇六一五七〇七〇二五六五八〇七六明。 七二二七〇〇〇〇五〇五〇五〇五〇五〇五一五 七二二七〇〇〇〇〇五〇五〇五〇五〇五

育林本行小洋砂票 小件 百十五元五

正金銀行行市 一百十五元三





派 處 奉雙天城 三姓 口 昌中廟東義小對交字北行和究自廣糧 棧江前營合紅過涉局大 成所治江米 義 元爐樓 司 街 洋 研第行 海本 分館 安鐵北上天天天慶嶺京海海洋津粮率融縣觀前十南安西橋賈南鄉大府社的股署廟門六京里門家村的股署廟門六京里門家村的股署廟門六京里門家村的股署廟門六京里門家村的股署廟門六京里門家村的大東東

公立幼稚舍

牙室

李茂林君 梁子亨君 神戸榮山三十二番 野蘭城內中等路內里 野蘭城內中等路內里 野蘭城內中等路內里 野蘭遠大傳家回北 哈爾濱傳房亞藥 哈爾濱傳房亞藥 哈爾濱爾島北東西 哈爾濱爾島北東西 哈爾濱爾島東西 新 支雅齊祖 交雅齊祖 交雅齊祖 大雅齊祖 大雅齊祖 大雅齊祖 大雅齊祖 大雅齊祖 大雅齊祖

示均每飲李研藥自北 為可服食醫 研等示京 憑退售不祖 **犯**項之

封二隨時翻此 十丸感止胃藥 付姜即-倒專售水發切飽治 洋送如酒嘔男 五下服積吐婦元謹此食惡心 言元再經乍飲無六犯久痛食 二角每不時不價每服愈發消

延脚等不酸兩此年壯症能因腎藥 員筋躲種足虧經 補骨之子不損驗 劑與最**房**任五奇 中陽能**勞地**癆方 之種保過膝 t棟 聖子護度冷傷選 華 健身夢如腎上 也步體遺冰虛品 每輕培滑傷諸藥 白 五多神一不腰專丸 言飲顏月精羟先 無食色命冷痛天二益强衰精四不

價壽廢憊淸肢足

在不合格者恕不作復居 下門地址 復尚 題文立革 志服操影白龍先帝 散務三日日

报 是 最 是 最 君 子 靖 君 居 子 靖 君

林招聘各地訪員)